

2024年2月12日

名古屋市長
河村 たかし 様

名古屋市教職員労働組合

緊急要請

貴職におかれましては日々職務精勤ご苦労様です。

2月11日(日曜日)中日新聞の1面の見出しは「名古屋市教委に教員団体金品」とあり続いてリード文では、名古屋市教育委員会事務局が市内全16区の校長会など80以上の教員の団体から毎年、1団体ごとに3万円前後の現金などを受け取っていたことが関係者への取材で分かった。各団体は次年度の市立小中学校の校長に推薦する教員の名簿とともに金品を納めていた。事務局幹部は取材に「激励と受け止めている。(後略)」と話したが、事態を把握した市は「団体側から市教委への上納金」と判断、不適切な金品の授受にあたるとして調査する方針だ。とありました。

続く本文で、受け取った金品の用途について、校長経験者の市教委事務局幹部は取材に「夏の教員採用、年度末の定期異動の作業繁忙期に職員が深夜勤務する際の飲食費や、会合で市議、教職員課OBらを招いたり、現場の教員から意見を聞いたりする会合の車代に使っている」と説明し(中略)「(金品が)校長人事に反映されることはない」と話した。とありますが、金品が各団体が校長に推薦する教員の名簿と共に納められていることから、それは校長人事に反映されている、と考えられます。

今回の件に関して名教労は市長との懇談を申入れます。

以下を懇談内容とします。

記

- 1 名古屋市職員倫理審査会に名教労の組合員を入れること。
- 2 市教委の人事に関する会議(通称:キャンプ)に関わった過去の管理主事(経験者)にも調査を行い、処分を検討すること。
- 3 市教委教職員課に金品を授受した団体名を明白にすること。

以上